

(5)

とやま経済

2015年(平成27年)3月14日 土曜日

(日刊)



2015年(平成27年)
3月14日
土曜日

とやま経済

インドネシアで市場調査

エムダイヤ 廃棄物処理問題解決へ

エムダイヤ(滑川市中村、森弘吉社長)は、インドネシアの廃棄物処理問題の解決へ向け、自社のリサイクル設備「エコセパレ分離・破碎機」の市場調査に乗り出す。国際協力機構(JICA)が行う中小企業海外展開支援事業の「案件化調査」に採択されており、約1年かけ現地のニーズや採算性などを調べる。

は技術レベルの不足などから投棄されているという。

JICAによると、インドネシアの首都ジャカルタでは1日当たり6500ト超の廃棄物が発生。うち約6200トは埋め立てているが、一部

エコセパレ分離・破碎機は、タイヤや電線ケーブルなど異素材が混合している廃棄物を1台で素材別に分離できる。この特性を生かして廃棄物の再資源化や減容の可能性を探る。

今回、JICAの案件化調査では129件の応募のうち25件が採択され、同社は北陸で唯一、採択された。今後はJICAと調査の委託契約を結び、現地の政府関係機関を中心にニーズなどを確認する。